

経営比較分析表（平成30年度決算）

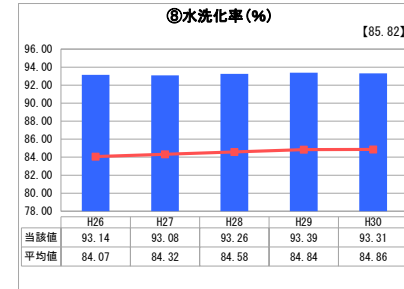
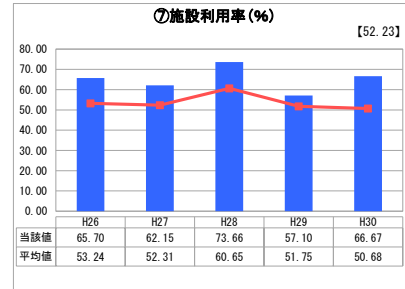
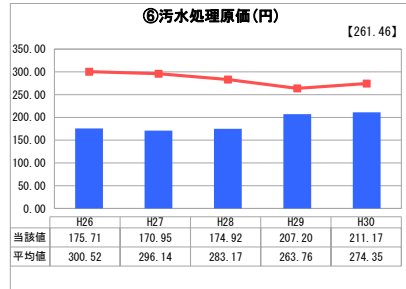
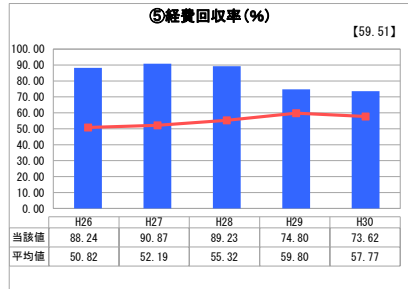
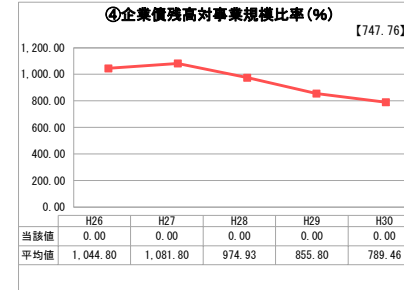
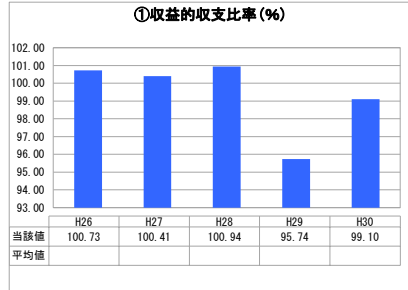
栃木県 益子町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.35	78.79	2,808

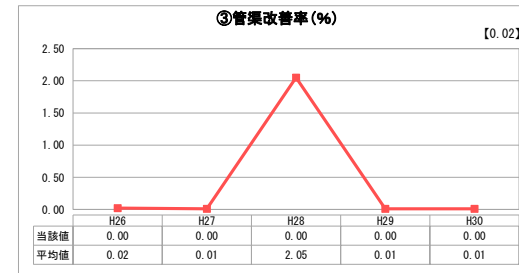
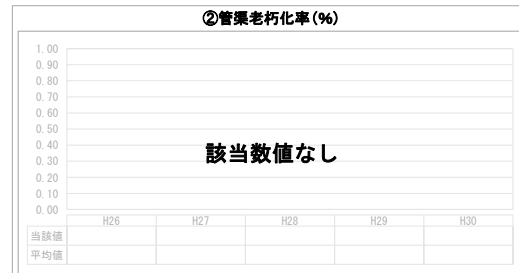
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,174	89.40	259.22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,151	1.00	2,151.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率
概ね100%であるものの、全体的には一般会計からの繰入金に依存した経営となっている。引き続き経費削減をしながら料金水準の適正化を図っていく必要がある。

④企業債残高対事業規模比率
面的整備は完了し、以前から0%である。地方債借入の償還額のピークは過ぎており今後は下降に転じていく見込みである。

⑤経費回収率
100%を下回っており、汚水処理に係る費用を賄っていない状況である。より健全な経営のため更なる経費削減や財源確保を図る。

⑥汚水処理原価
類似団体と比較すると低いものとなっているが、今後もさらに有収水量の向上など経営改善の努力を継続していく。

⑦施設利用率
類似団体と比較すると上回っているものの、今後も適正な利用のため努力する必要がある。

⑧水洗化率
類似団体と比較すると高い状況にあるが、今後も維持管理等をするための財源確保のために、水洗化の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路施設は供用開始からの期間が比較的短いこともあり、管路の老朽化はまだ顕著となっていないが、今後は老朽化による修繕や更新が必要となってくるため、施設の計画的な修繕や更新が必要になってくる。

全体総括

経営の健全性・効率性の項目によっては、類似団体の平均値よりも数値が上回るなど評価できる面もあるが、経費回収率は100%を下回っているため、今後も維持管理経費の縮減や収入増など経営改善へ向けた取り組みは継続していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。